

【帯同審判における注意事項】

港区バスケットボール連盟

〈試合開始前〉

- ①レフェリー・カッター・笛・試合球の準備（電子ホイッスル、試合球は本部より貸出し）
- ②TO,モップのスタンバイ確認
- ③5分前までにスタメン申告&サインを各チームコーチに促す
- ④3分前・1分30秒前のコールとシグナル
- ⑤相方レフェリー・TOとのコミュニケーション
- ⑥両チームのユニフォーム確認（男子は上着裾をバスパンの中に入れる）

〈ゲーム中〉

- ⑦笛は強く大きく吹く事（必要、状況に応じて笛の吹き分けが出来れば、尚望ましい）
- ⑧会場全体に分かるように的確なシグナルを出します
（ファウル、アウトオブバウンズ、選手交代、チャージドタイムアウト、得点、3Pなど）
- ⑨特にファウルの発生時は的確に一連の動作を行います
即ち、笛・挙手を同時に行い、ファウルの種類及びファウルの処置をシグナルで示してからTOに近づいて伝達・報告をし、プレーを再開します。尚、この際約束に応じてリードとトレイルがそのままのポジションとなるかポジションを交代する場合があります。
- ⑩《リード》
 - a ボールから目を切らずにフロントコートへ向かう
 - b エンドラインの外では状況に応じて左右に動いて位置取りをします
- ⑪《トレイル》
 - c フロントコートでの深い立ち位置の確保
- ⑫ピリオド間、ハーフタイム、チャージドタイムアウトなどの時には相方レフェリー・TOとコミュニケーションを取り、得点・ファウル数などを確認します
昨今、背番号だけで選手名の記入の無いものや各ピリオドの得点・総得点が無記入のスコアシートが散見されます。試合の前後と共にこうしたインターバル時にチェックし、スクローに促します

〈試合終了後〉

- ⑬得点確認後に勝利チームをコール
- ⑭スコアシートの確認とサイン
- ⑮スコアシート4枚綴りのうち、ピンクは勝ちチームへ、黄色は負けチームへ、ブルー2枚は大会本部席に提出します
- ⑯試合球（借り受けた場合は電子ホイッスルも）を本部に返却します